

<p style="text-align: center;"><b>教育目標(めざす児童生徒像)</b></p> <p>心とからだをきたえ、ともに学び合う児童の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すすんでまなぶ子</li> <li>・やさしい子</li> <li>・やりぬく子</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>今年度の指導の重点</b></p> <p>つながりを大切に ～言葉のちからで～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人・自然・社会にかかわり合いながら学習する子どもを育てる。</li> <li>・友だちとなかよくできる子どもを育てる。</li> <li>・互いに支え合い最後までがんばる子どもを育てる。</li> </ul>
<p><b>調査結果について(調査結果において明らかになったこと)</b></p>	
<p><b>【学力状況調査の結果】</b></p> <p><b>全国</b></p> <p>国語Aの正答率は、県平均を下回っているが、国語Bの正答率は、県平均を上回っている。 算数Aの正答率は、県平均を上回っており、算数Bの正答率は県平均と同程度である。 算数では、ABともにすべての問題において無解答率が県平均よりも低い数値となっている。 国語Aの漢字の読み書きでは、極端に正答率の低い問題がある。 算数Aの数と計算では、小数の加法に課題がある。</p> <p><b>県</b></p> <p>4教科すべてにおいて、県の正答率を上回っている。 数学の活用問題の正答率は、県平均よりもかなり高い結果となった。 国語の「書く能力」に課題が見られる。</p>	<p><b>【学習状況調査の結果】</b></p> <p>平日にテレビを1時間以上見る児童の割合は、県平均と同程度だが、2時間以上見る割合は県平均よりもかなり低い。 平日にゲームをする児童の割合は県平均よりも低い、2時間以上する割合は県平均よりも高い。 平日も土日も、1時間以上家庭学習をする児童の割合は、県平均よりもかなり高い。 家で学校の宿題を「している」と答えた児童の割合は、県平均よりもかなり低い。 平日に30分以上読書をする児童の割合は県平均よりも高いが、1か月に5冊以上読む児童の割合は、県と同程度である。 「読書が好き」という児童の割合は、県平均よりもかなり低い。 「近所の人に合ったときは、あいさつをしている」生徒の割合は、県平均を上回っている。 「携帯電話やスマートフォンを持っていない」児童の割合は県平均をかなり上回っているが、生徒の割合は県平均を下回っている。 家で、学習の復習をしたり、苦手な教科の勉強をしたりしている児童の割合は、県平均をかなり上回っている。 国語Aでは、解答時間が「余った」「ちょうどよかった」と答えた児童が県平均をかなり上回っているが、国語Bでは「足りなかった」と答えた児童が県平均を上回っている。</p>
<p style="text-align: center;"><b>成果と課題</b></p> <p>全国も県も、ほぼ県平均と同程度か、それを上回ることができた。 算数では、すべての問題において県平均と比べ無解答率が低い。 家庭学習の習慣が、定着しつつある。 あいさつ運動に取り組んできた成果として、生徒の意識が高まってきた。 ノーテレビデー等の取組が、テレビの視聴時間短縮につながってきている。 読書の習慣は付いてきているが、読書が「好き」だから行っているのではないという意識も見られる。 国語も算数も「好き」と答えた児童の割合は県平均よりも高いが、「漢字の読み書き」「四則計算」等の基礎的な力に課題が見られる。 長文を含む問題では、尋ねられていることと、その答え方が食い違っていることが多い。</p>	<p style="text-align: center;"><b>課題に対応した改善方法</b></p> <p>読み聞かせボランティアと協力しながら、さまざまな内容の本とふれあう機会をより多く持つ。 読書週間を利用し、学級でキャンペーンを張るなど、落ち着いて読書に取り組む経験を積ませる。 「ふり返り学習」の時間を有効に活用し、既習の漢字や計算等を繰り返し復習する。 ICTを有効に活用することで、言語活動の時間をできる限り確保する。 めあてとまとめを明示した授業を継続する。 家庭学習100%提出の取組を継続する。 児童の家庭での生活や学習習慣を整える取組を、今後も続けていく。 人のために働く経験を積みませ、児童の自己有用感を高める。</p>
<p style="text-align: center;"><b>取組の検証方法及び検証時期</b></p> <p>2月に学力テストを全学年で実施。 児童アンケートを毎学期末に実施。 保護者に協力を働きかけ、家庭学習をさらに充実させる。 上記の結果を受けて、指導方法等の改善を図る。</p>	<p style="text-align: center;"><b>達成目標(数値目標)</b></p> <p>学力テストでは、50%以上の学級が正答率で全国平均を上回る結果を出す。 宿題の提出率を、全学年で90%以上にする。 「自分のいいところ」を、全員が5つ以上言えるようにする。</p>